

平成14年度第3回熊本県環境影響評価審査会 議事概要

日時：平成14年10月10日（木）午前10時～午後0時

場所：水前寺共済会館2階「鳳凰」

出席者

熊本県環境影響評価審査会：今江会長、内山委員、木田委員、古賀委員、鈴木委員、
西岡委員、長谷委員、弘田委員、藤木委員、吉田委員

事務局：熊本県環境生活部環境政策課職員（村山、真田、坂本、小澤、藤山）

事業者：土木部都市計画課（アセス実施者）職員（古賀主幹、西岡技師）、熊本駅周
辺整備事務所（西田主幹、伊東参事、内村主任主事）、新幹線都市整備総室
（工藤課長補佐、野田主幹、笹路参事）、コンサルタント会社職員

議題

熊本都市計画都市高速道路九州旅客鉄道鹿児島本線・豊肥本線（連続立体交差事業）
に関する環境影響評価準備書について（準備書等の内容説明）

議事概要

今回事業のアセスの流れについて

審査会事務局（環境政策課）から、これまでの手続きの経過及び今後の手続きの流
れについて説明が行われた。

事業及び環境影響評価準備書の説明

熊本駅周辺整備事務所から事業及び環境影響評価準備書に関する説明が行われた。

主な質疑等

- ・軟弱地盤を踏まえ、高架橋を実際に造るときの基礎の深さも考慮しての騒音、振動の予測が必要ではないか。
- ・水路にメダカが確認されたとあるが、メダカの存在は、自然が維持されているということ。本当にメダカが生息しているかを確認し、生息が確認されれば水路の保持はより一層慎重に行ってほしい。
- ・具体性に乏しい部分がある。可能な範囲で定量的に評価してほしい。
- ・近代文化遺産といえる駅舎及び付属設備等の保存について、十分検討してほしい。

3 その他

特になし。

配布資料

- 1 熊本都市計画都市高速道路九州旅客鉄道鹿児島本線・豊肥本線（連続立体交差事業）環境影響評価準備書及び準備書資料編
- 2 今回アセス案件に係る意見照会書
- 3 熊本都市計画都市高速道路九州旅客鉄道鹿児島本線・豊肥本線（連続立体交差事業）に関する環境影響評価手続き等について（次第裏面）